低速圧縮搾りジューサー

HUROM SLOW JUICER

HU-300

取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください。
ご使用後も大切に保管してください。

このたびは、《低速圧縮搾りジューサー HUROM SLOW JUICER》を
お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本製品を安全に正しくご使用いただけるよう、お使いになる前に
必ずこの取扱説明書をお読みください。
ご理解いただいたあとも、必要なときにいつでも調べられるように、
お手元においてご使用ください。

1 梱包の内容と各部の名称

■商品が届きましたら、まず洗ってください。

1	本体
2	受け容器（2個）
3	ドラムキャップ&トレー
4	ドラム
5	ジュースストレーナー（小）
6	押し棒

7	スクリュー
8	ストレーナー自動洗浄ホルダー
9	豆腐用型
10	ジュースストレーナー用洗浄ブラシ
11	洗浄ブラシ

2 組み立て方

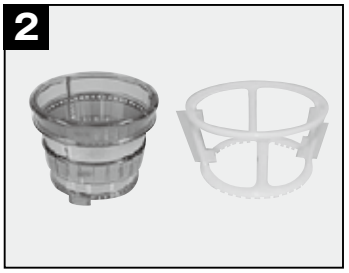
ドラムセット組み立て手順

下記の順番でドラムセットを組立てください。

1

次の番号の部品を用意します。4番
5番　7番　8番

2

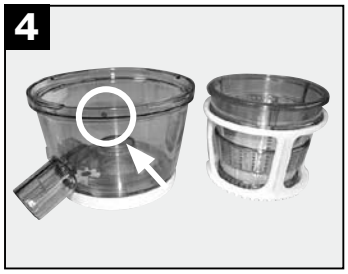


8番と5番(人参ジュースを作る場合は網の目の細かい方を使います)

3

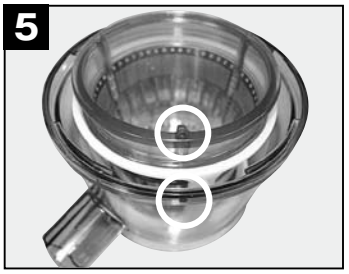
8番と5番をはめ込みます。

4



4番を用意します。この時○の中の赤い点の位置を確認して下さい。

5



赤い点を合わせて入れて下さい。軽い音がしてハマります。

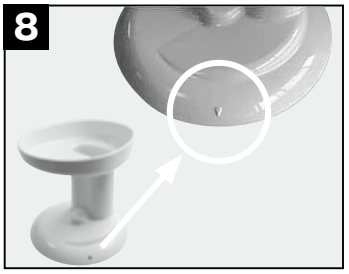
6

セットした部品(写真5)と7番を用意します。

7

7番の部品を中に入れます。正しく入ると7番の部品を回すと8番の部品も回ります。

8



3番のドラムキャップ＆トレーのこの三角を確認して下さい。

9

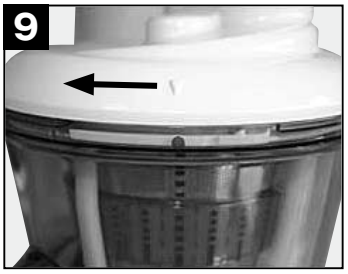


写真7の組み立てた部品に、赤い点に三角を合わせて下さい。合わせましたら3番の部品を矢印方向に止まるまでひねって下さい。

10

3番のドラムキャップ＆トレーのこの三角を確認して下さい。

11

本体と組み立てたパーツを用意します。

12

上図の△マークが本体のＣＬＯＳＥの位置に合えば完成です。(位置に合わないと安全装置が働いてスイッチを入れても動きません)

3 使い方

HUROM SLOW JUICERとは

低速圧縮搾りの＜HUROM SLOW JUICER＞では、温度が40℃以上にならないことと、圧縮搾りという搾汁方法の為、一般的な高速ジューサーで起こる摩擦熱の発生や衝撃が殆どありません。
変色や空気の撹拌による酸化、栄養破壊も非常に少なく、酵素を生きたままお摂りいただく事ができます。

HUROM SLOW JUICERの使い方について

①パーツを組み立て、本体にセットします。
②ジュースを搾るときは、 四角い排出口から繊維の搾りカスが、 丸い排出口からジュースが出ますので、 受け容器をそれぞれ写真のようにセットしてください。
③受け容器を排出口にそれぞれセットしたら、 プラグをコンセントに差し込みます。
④スイッチをONにします。
⑤ジュースを搾る前にコップ1杯分の水をジューサーのスイッチを入れた状態で流し、出てきた水を捨ててください。(事前に部品を湿らせる事で食材のこびり付きや詰まりを防ぎます)

⑥⑤の後、 空の容器を再度セットし、 カットした果物や野菜をトレイの投入口から入れ、押し棒を使ってゆっくり押し込みます。
※果物や野菜を入れている間、スイッチは切らないで下さい。
⑦前の果物や野菜が見えなくなってから、次の果物や野菜を投入します。
⑧ご使用は1回あたり30分以内にとどめてください。

お手入れのワンポイント！

ジュースを搾り終えた後、パーツを取り外す前に水を受け容器1杯分くらいスイッチをONの状態で上から流すと、パーツを取り外した後のお手入れがとっても簡単になります。

※ご注意ください※

①搾った生ジュースは長期保存ができません。搾ったら、お早めにお召し上がりください。
②ジュースストレーナーとスクリューの摩擦を避ける為、1分以上続けて空回しをさせないでください。

スプーンや箸の使用は絶対に避けて下さい。

※種は、ジューサーの中には絶対に入れないでください。
せっかくの消化酵素の働きが抑えられてしまうので種は入れないでください。果実などの生の種には、子孫を残すため自己消化しないように、酵素の働きを抑える強い酵素抑制物質が含まれているからです。種のあるみかん類は直接食べるか、ジュースにするときは、必ず取り除いてください。

4 体にいい、酵素ジュースの飲み方

1.生ジュースは、中の酵素が働いて変質しはじめるので保存できません。 搾りたてをお召し上がりください。
2.朝一番に飲むこと、また、食事の前にお召し上がりいただくことをおすすめします。
3.一口飲んだら口中で味わうこと。
4.がぶ飲みしないこと。
5.1回におよそ400～500mℓを目安に、 1日2ℓまでとし、食事前にお召し上がりください。

■人参ジュースの搾汁についての注意点

⚠注意事項　人参ジュースを搾汁する際、以下のことにご注意下さい

写真1

【注意1】
人参は大きさにもよりますが、写真1のように
6～8等分にカットしてください。(写真は1本分です)

写真2

【注意2】
必ず1本ずつ入れ、 音が静かになったら次を入れてください。(入れすぎると安全装置が働いて止まってしまい、故障の原因にもなります

写真3

【注意3】

写真3のように、搾汁が終わりましたら、水で流すとお手入れも楽になります。

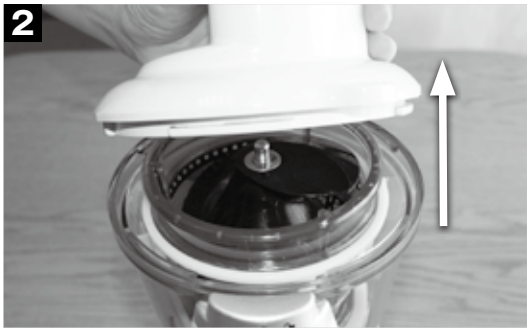
人参は硬いので、 上記のことに十分注意して搾汁して下さい。
材料を一気に入れすぎてしまうと材料を入れる量とカスが出る量のバランスが崩れ、ドラムやストレーナーに出切れないカスが溜まり圧力(入り口は広いが出口が狭い為)が掛かって、パーツが破損してしまう恐れがあります。

お忙しいと思いますが、ゆとりを持っておいしいジュースを作って下さい。

5 取り外し方

以下の手順で取り外してください。

1.ドラムキャップ＆トレーを時計の針と反対方向に回し、ロックを開きます。



2.ドラムキャップ＆トレーを持ち上げ、はずします。

3.スクリュー＋ジュースストレーナー(小)＋ストレーナー自動洗浄ホルダーの３点セットを真上に持ち上げはずします。

4.ドラムのジュース注ぎ口を持って、時計の針と反対方向に回します。

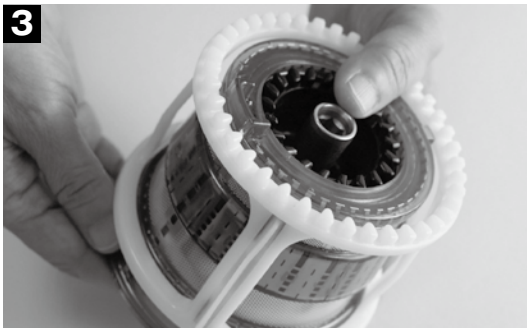
5.ドラムの上部を指で掴み、 そのまま、真上に持ち上げます。
以上で取り外しが完了です。

6 洗い方のポイント①

ジュースストレーナーに残ってしまった果物や野菜の繊維は専用のブラシを使えば楽にお掃除できます。

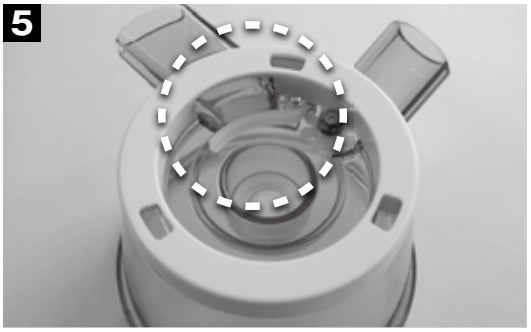
1.ジュースストレーナーはジュースストレーナー用洗浄ブラシで優しくこするだけで、きれいになります。

2.スクリューの裏面は洗浄ブラシや柄の部分を使って洗浄してください。



3.スクリューをはずす時はひっくりかえして写真のように親指で押せば、簡単にはずれます。

4.搾った果肉の繊維は、ドラムの口の部分にたまるので、洗浄ブラシの柄の部分を使ってかき出します。

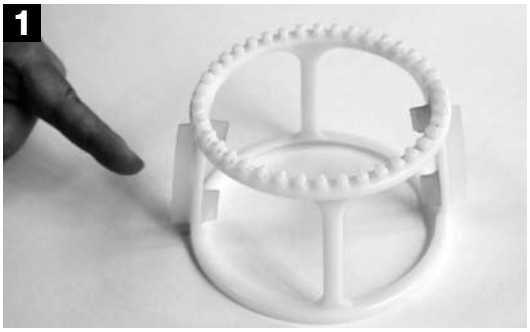


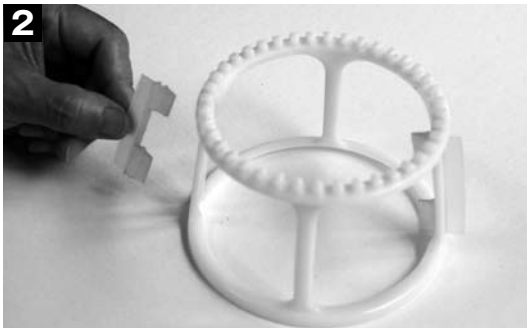
5.ドラムを洗浄する時に、ドラムの底の搾汁パッキンを外すときれいに洗浄できます。

6.洗浄後、搾汁パッキンは元の位置にしっかり差し込んでください。

洗い方のポイント②

ストレーナー自動洗浄ホルダーのシリコンドクターは取り外して洗浄してください。



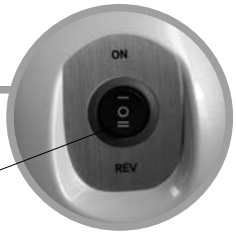


また、洗浄後はすぐにはめてなくさないようにご注意ください。

7 故障かなと?と思ったら

ジュースを搾っているとき、ドラムにジュースがたまる場合は……

1 リバースボタンを使う



リバースとオンを繰り替えし作動すると、
ドラムの中のジュースが出てきます。

2 キャベツを使う

キャベツは、搾りにくい素材や果肉がドロドロしたりんご(ジョナゴールドなど)の繊維を押し出すのに使えて便利です。ジュースの色や香り、味に影響はありません。

3 それでもだめなら

スイッチを切り、ドラムキャップをはずしジュースストレーナーの内側を洗浄してください。スクリューについているジュースの素材はそのままでもう一度組立て、作業をお続けください。

状態	原因・措置
電源コードを入れても作動しない	(有)オデオコーポレーションにご連絡ください。
使用中、回転が止まる	粉砕不可能な材料を入れたり、材料を多く入れすぎると起こることがあります。その場合はリバース(REV)ボタンを押して 2 ～ 3 回逆回転させてから、もう一度オン(ON)ボタンを押してください。
	30分以上（およそ35分ほど）モーターを作動し続けると、モーターの安全装置が働き自動的に止まります。モーターの焼き付きを防ぐ構造になっているためです。その場合、30分以上休ませモーターが冷えてから再度お使いください。
ドラムと本体の連結部位からジュースが出る	ドラムについているゴムパッキンが外れていないか確認してください。
材料を入れずに回転させるとドラムセットから雑音がする	材料を入れない状態での音は摩擦音で、 故障ではありません。
途中で動作が異常になったり止まってしまったりする	リバース(REV)ボタンを 2 ～ 3 度押し、 もう 1 度スイッチをオン(ON)にしてください。
搾った汁が逆流する	ジュースストレーナーを使って、柔らかいものを搾ったとき汁が逆流した場合は、キャベツなど繊維質のものを追加して入れてください。
本体とパーツセットが外れない	**REV（リバース）ボタンを（2～3秒）押して逆転し、正回転（2～3秒）を2，3回繰り返し行ってください。 ※リバースをするとオープンの方に動く場合がありますが、これは故障ではありません。**

上記の処置をしても不具合が生じる場合は、使用を中止し、必ず電源プラグを抜いた後、故障の状況をお買い上げの販売店か、(有)オデオコーポレーション窓口までご連絡ください。

お手入れワンポイントアドバイス

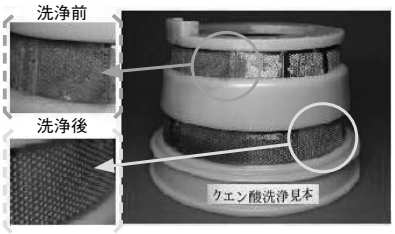
野菜などのジュースを作ると、どうしても洗剤で落ちない渋や脂がドラムやストレーナーに残ってしまい、ジュースの搾り具合が悪くなったりくすんだりします。そのような時は次のようなお手入れをしてみて下さい。

主な汚れの原因

1.ストレーナーのステンレス網のくすみや内部のざらつき。
2.ドラム内部のくすみやざらつき・パッキンの黒ずみ。
3.洗浄ホルダーの変色やくすみ・シリコンドクターの変色。
4.ドラムキャップ＆トレーの変色。
5.スクリュー表面のざらつきや変色。

お手入れ方法

1.水またはぬるま湯1リットルにクエン酸(無害です) を、大さじ3～4杯を溶かす。(水またはぬるま湯の量によりクエン酸の量を調整してください)
2.クエン酸水溶液にストレーナー・ドラム・洗浄ホルダー・スクリュー・各パッキンを一晩浸け置きして下さい。
3.翌日、メラミンスポンジ(洗剤のいらないスポンジでホームセンターなので購入可能です) で良くこすり洗いをして下さい。
4.乾燥した所で、くすみ等がまだ残る場合はジュースを作るのに支障が無いよう、適度に上記方法で洗浄して下さい。



渋や脂がひどい場合は次の方法で試して下さい

①台所用漂白剤を少し濃い目にして、上記部品を一晩漬け置きして下さい。
②翌日、洗剤でよく洗い流し風通りのよい日陰で乾かして下さい。
③ストレーナーのステンレス部分や内部に白い粉が表れます。よくブラシやメラミンスポンジで洗い流して下さい。

是非試してみて下さい

日頃の搾汁方法として、最後にキャベツの茎や葉を入れるとお手入れの際、とても楽になります。
キャベツの繊維には…洗浄作用があり、ジュースストレーナーやドラムに付いた渋や脂の汚れに有効です。

注意 キャベツを入れる場合は、茎と葉を別々に入れて下さい。

よくある質問

1.スイッチが入りません。

商品本体が正しく組み立てられていない可能性があります。取扱説明書に沿って再度組み立て直しをしてください。それでもスイッチが入らない場合は㈲オデオコーポレーションまでご連絡ください。

2.ジューサーの中にジュースや野菜が残ります。

最後にキャベツを２～３枚通してください。キャベツの繊維によりドラムの中の野菜や果物やジュースの残りがきれいに押し出されます。 今度はキャベツが繊維の排出口から出ずに中に残りますが、RAV（リバース）ボタンを押して逆転させ、その後ONで正回転を2～3回繰り返すことにより、キャベツの繊維もほとんど排出されます。

3.ジュースが漏れます。

SLOW JUICERの場合　搾汁パッキンが緩みなく付いているかご確認ください。このパッキンが緩んでいるとジュースが漏れる可能性があります。またドラムの中央にある丸い穴のパッキンに問題がないかご確認ください。それでもジュースが漏れる際は㈲オデオコーポレーションまでご連絡ください。

4.ジュースに繊維が混ざっています。

SLOW JUICERの場合　ドラムの裏に付いている搾汁パッキンが緩みなく付いているかご確認ください。付いていて繊維のざらつきが気になる場合は搾った後のジュースを再度、ジューサーをオンにした状態で通してください。もう一度ジューサーに通すことによりジュースがよりさらさらになります。

5.排出した繊維の中にジュースがまだ残っている。

まず、ドラムの裏についている搾汁パッキンがしっかり押し込まれているか確認してください。 緩みなく付いていることが確認できた場合でなお繊維にジュースが残っている場合は、ジュースストレーナーの下の段の網が、繊維で詰まっていることが考えられます。キャベツを2～3枚通して、ジュースストレーナーをはずし、ジュースストレーナーの内側から専用ブラシでよく洗浄してください。良く洗った後、乾かして網の目に繊維が残っていないか確認してください。きれいになっていれば、問題は解決します。

6.葉物野菜をジュースにするには

葉物野菜だけでジュースにする事は可能ですが、白菜などのやわらかい野菜で上手にジュースにならない場合は、にんじんやかぶなどの少し繊維のしっかりした固めの野菜と一緒に入れていただくか、または水分の多いリンゴやグレープフルーツと一緒にジュースにすることをおすすめいたします。

8 仕様

形式	HU-300	
寸法	幅220mm×奥行160mm×高さ395mm（本体のみ273mm）	
重さ	5.6kg	
カラー	WHITE／RED／SILVER	
スクリュー回転数	80回／毎分	
ヒューズ	125V/5A	
材質	押し棒・本体	：ABS樹脂
	ドラムキャップ＆トレー	：ABS樹脂＋アセタール
	スクリュー	：ポリイミド＋ステンレス
	ジュースストレーナー（小）	：ポリイミド＋ステンレス
	自動洗浄ホルダーベース	：アセタール
	ホルダーゴム・パッキン	：シリコン
	ドラム	：PC樹脂
	押し板・豆腐型	：ポリプロピレン
	受け容器	：AS樹脂
電源仕様（V-Hz）	100V・50/60Hz	
消費電力（W）	150W	
定格使用時間	30分	
製造国	大韓民国	

お取り扱い上のワンポイントアドバイス

A ニンジン、イモ類、葉物等水分の少ない野菜には必ず水分の多い野菜や果物を一緒に搾って頂く事をおすすめします。

B ジュースが搾りづらくなったと感じたら…ジュースストレーナーの網目部分に汚れが詰まっているかもしれません。
キッチン用の漂白剤を薄めた水に浸けおきし、その後よく洗って下さい。

C ドラムが外れない場合の対処方法…スプレー式の潤滑剤を本体の回転軸とスクリューの穴に吹きかける。

安全にご使用いただくために

安全のために必ず以下の注意事項を守ってお使いください。

⚠ 警告

表記事項を守らない場合、深刻な傷害や
死亡事故につながる可能性があります。

⚠ 注意

表記事項を守らない場合、深刻な故障や
製品損傷が発生する可能性があります。

これは危険の恐れがある事項と操作に関して注意を喚起するための記号です。
この記号がある部分は事故発生を避けるために必ずご使用前によく内容を確認してください。

⚠ 警告

改造、修理、または本説明書記載以外の分解は行わないでください。
火災・感電・けがの原因となります。弊社サービスセンターにお問い合わせください。

電源を入れたまま、本体部分を拭いたり水をかけないでください。
火災・感電・ショート・故障の原因となります。

子どもの手が届くところに、電源を入れたまま放置しないでください。
感電・けが・事故の原因となります。

ガスコンロなどの熱源から20cm以上離してください。
火災や変形の恐れがあります。

**トレイの投入口に材料を入れるとき、押し棒以外の指や箸・スプーンなどの
金属類の異物を絶対に入れないでください。**
けがや事故、スクリューなどの破損、故障の原因になります。

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
　また、濡れた手でプラグを触らないでください。感電やけがの原因になります。

⚠ 警告

電源は、100V 専用コンセントを使用してください。
100V を超える電圧では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

周波数(50Hz または 60Hz)の異なる地域では使用しないでください。
所定の性能が得られなかったり、故障の原因になります。

ご使用前に、必ず電源コードの破損、損傷がないことや安定して設置されていることを確認してください。
ガス漏れがあった場合は、本体を作動させず、窓を開けて完全に換気してください。
爆発・火災・火傷の原因となります。

ご使用中に異常な音や臭い、発熱、煙などが発生した場合は、すぐ電源を抜き、弊社フリーダイヤルにお問い合わせください。
火災・感電・けが・故障の原因となります。

製品にショックを与えたり、落としたりしないように注意してご使用ください。
感電・破損・火災の原因になります。

電源コードを無理して曲げたり、結んだり、引っ張ったりしないでください。
また電源コードの上に重いものを乗せないようにしてください。
感電・漏電・火災の原因になります。

電源コードが破損した場合、コード交換は危険を防止するために、弊社までご連絡ください。

⚠ 注意

固いものを調理しないでください。（例：完全冷凍した肉や魚、生の米・大豆・小豆など）

使用後、ドラムセットはすぐ取りはずしてばらし、洗浄してください。
時間が経つと、洗い落ちが悪くなります。
すぐに洗浄できない場合でも、洗い桶に浸すだけはしてください。

本製品の掃除などに、ガソリン・シンナーなどは使用しないでください。
破損・変色・故障の原因となります。

傾斜または不安定な場所で使用しないでください。
落下によって破損する場合があります。

本製品を廃棄する際は、指定された手続きに従って処理してください。
環境汚染の原因となります。

調理する果物、野菜などは、なるべく新鮮なものをお使いください。
鮮度により、ジュース・かす(繊維の部分)の量に差が生じます。
長く冷蔵庫に入れておいたものは、水分が少なく、十分なジュースを抽出できない場合があります。

使用後、部品を洗う際に、熱湯(60℃以上)は使用しないでください。
食器洗浄器は、熱湯で洗浄するので使用しないでください。変形する可能性があります。

材料を入れすぎないようにしてください。もし入れすぎてモーターの回転が止まったときは一旦REV(リバース)スイッチを２～３秒押して逆転させた後、ONのスイッチを入れ直してください。
停止状態が続くと、モーターの加熱により、損傷または機能低下の原因となります。

《商品の修理・製品のお問い合わせ先》

有限会社 オデオコーポレーション
フリーダイヤル：0120-043-831
〒410-2211　静岡県伊豆の国市長岡1201-2-105
受　付　時　間：平日 月曜日～金曜日　9：00～18：00

ODEO CORPORATION

総販売元：有限会社 オデオコーポレーション

〒 410-2211 静岡県伊豆の国市長岡 104-1008
TEL0120-043-831　FAX055-948-5042
info@e-lifestyle.co.jp　http://www.e-lifestyle.co.jp
http://www.juicer.jp

輸入元：日本ヒューロム株式会社

2011年3月3日改訂版